Yale 大学インスリン持続静注プロトコールを心臓血管外科術後に適用した際の ICU における血糖管理～従来法との比較～

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

術後合併症を防止するために血糖管理は重要ですが、以前から使用しているインスリン注入法ではコントロールに難渋する場合もありました。一方、Yale 大学が作成したインスリン持続静注プロトコル(Yale-P)は、現在の血糖値に加え血糖変化量を考慮してあり、使用成績も良好とされています。そのため、2022 年 3 月に心臓血管外科で開胸・側開胸手術を受けられた患者様に Yale-P を導入しました。今回、当院で 2022 年以前の従来の血糖管理を行った場合と Yale-P を使用した場合の血糖値、インスリン注入パターンを比較検討し、今後の血糖管理に役立てたいと思います。尚、診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2021 年 1 月～2023 年 4 月に当院の心臓血管外科で開胸・側開胸手術を受けられた方

使用する試料・情報

年齢、性別、身長、体重、術式、糖尿病の有無、血液検査(HbA1c、血糖値)、インスリン注入速度など
使用開始予定日：2023 年 9 月 26 日

研究予定期間

2023 年 9 月 26 日～2024 年 3 月 31 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。
［研究の情報管理責任者］　集中治療室　看護師　宮窪亮太朗
［当院の個人情報管理責任者］院長　中尾浩一

研究への協力ついて

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先	済生会熊本病院　集中治療室　看護師　宮窪亮太朗 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号　電話：096-351-8000(代表)